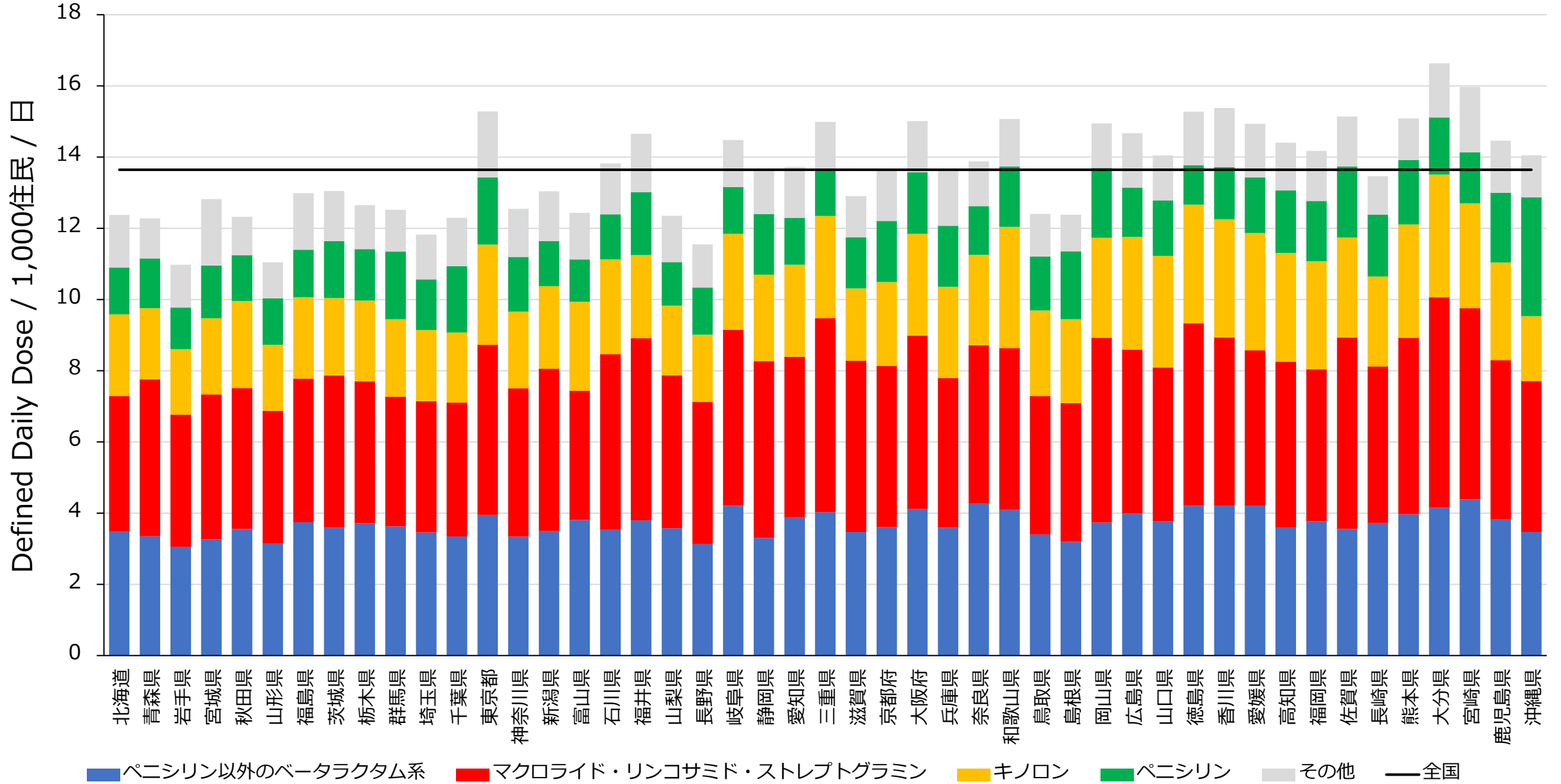
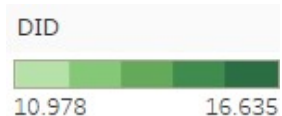
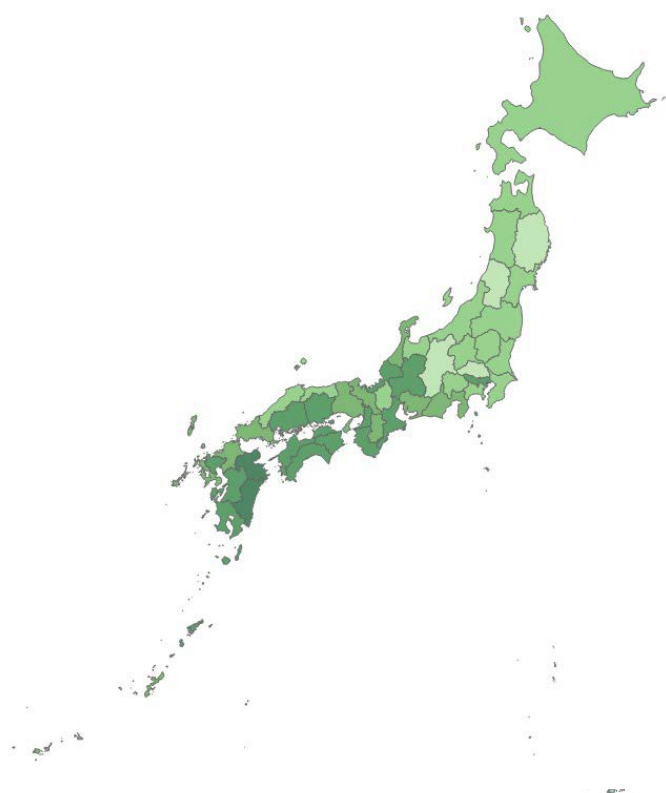


# 都道府県別抗菌薬使用量

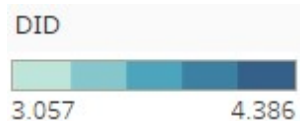
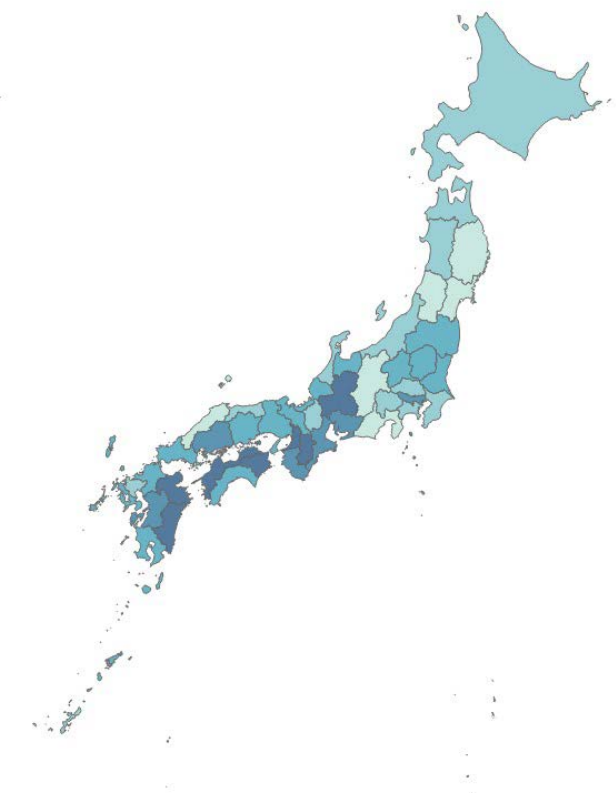


都道府県別 2019年 抗菌薬種類別 (ATC 3) 使用量マップ

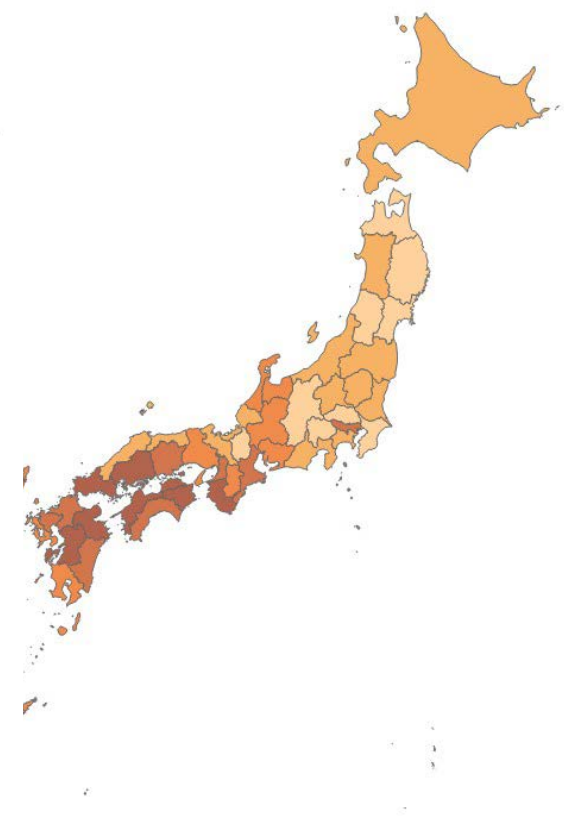
全抗菌薬合計



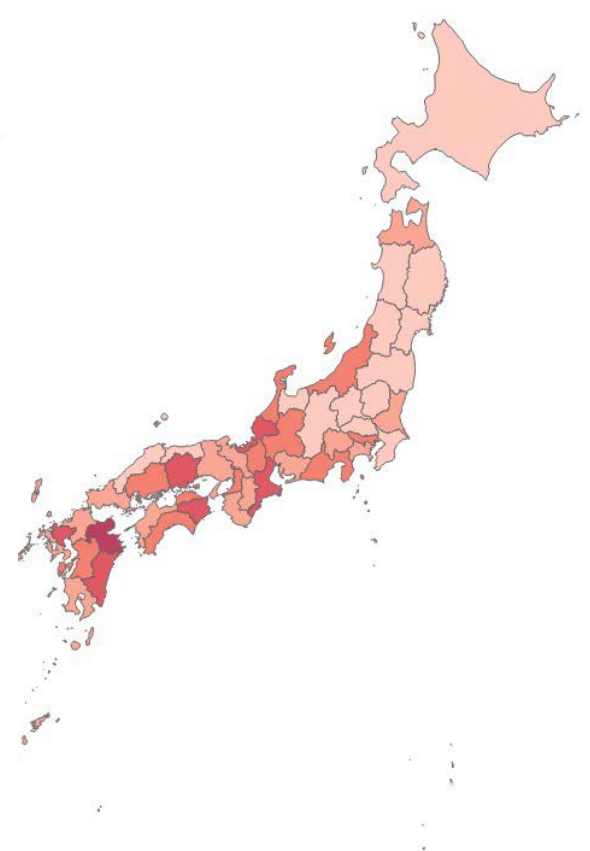
ペニシリン以外の  
ベータラクタム系



キノロン

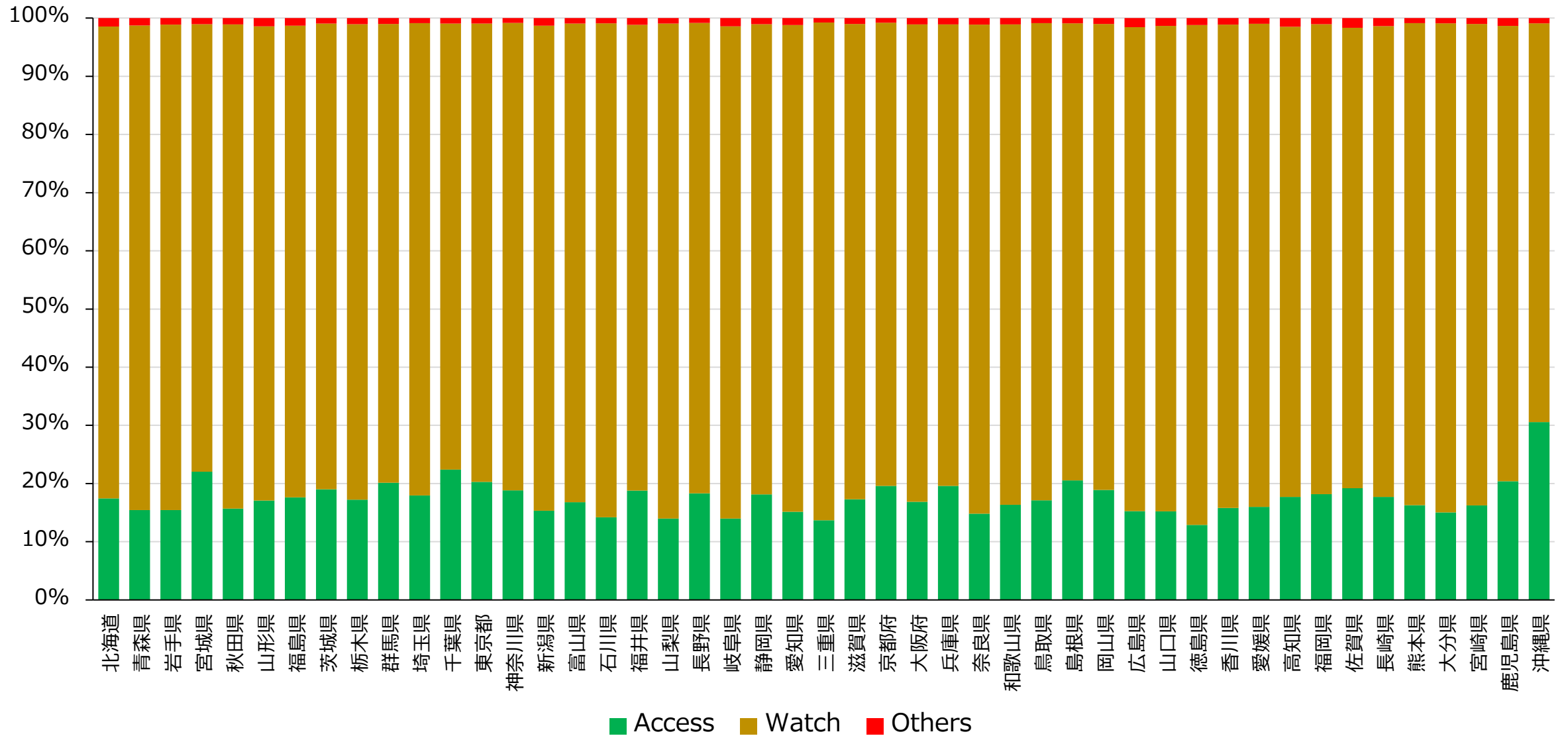


マクロライド・リンコサミド  
・ストレプトグラミン



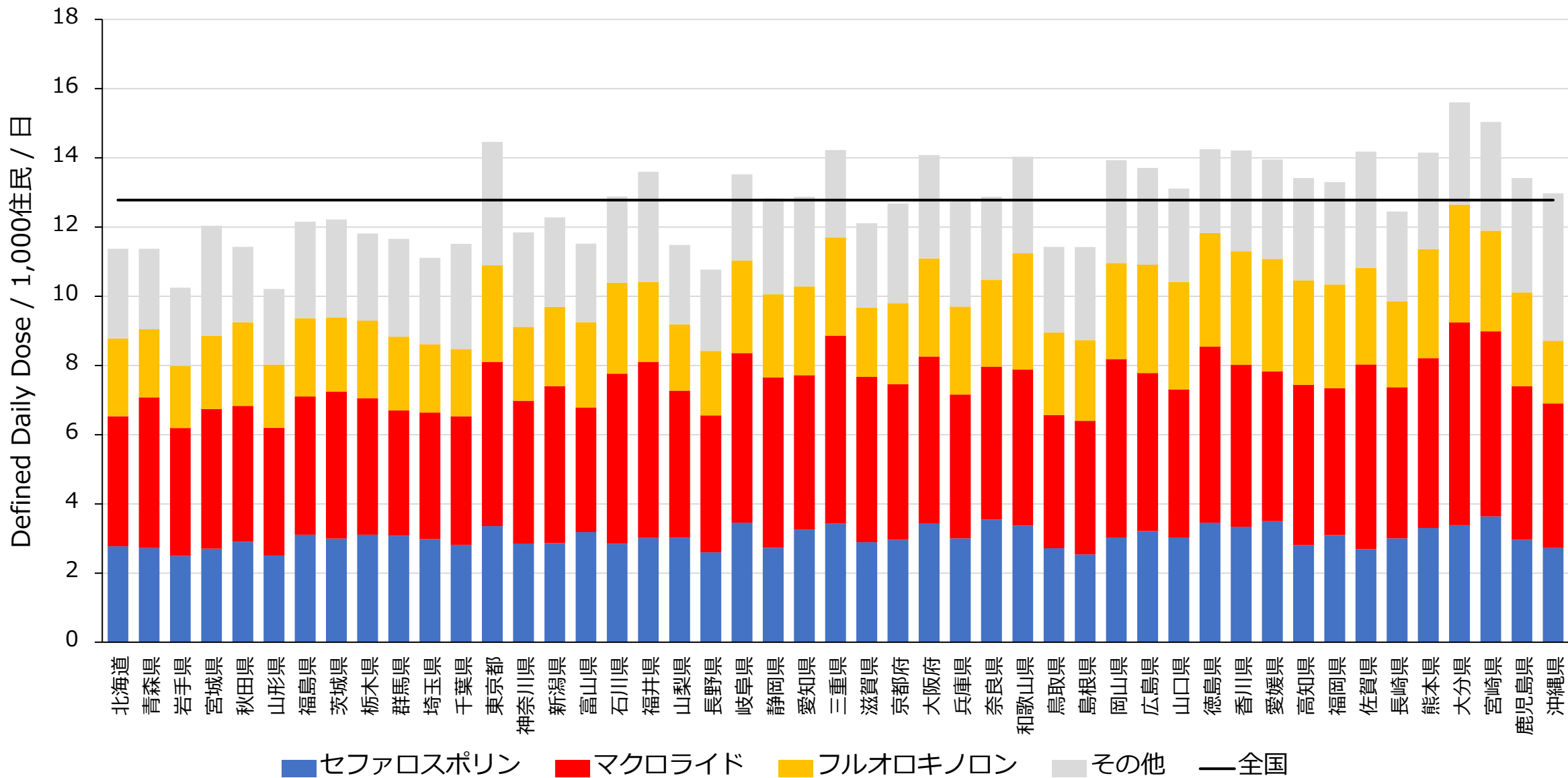
# 内服+注射

## 都道府県別 2019年 AWaRe分類による抗菌薬使用割合 (%)



内服

都道府県別 2019年 抗菌薬種類 (ATC4) による集計

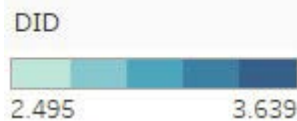
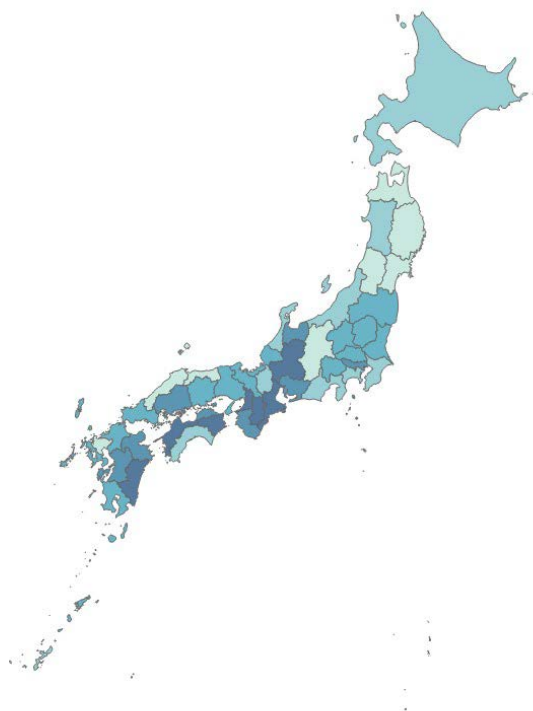


# 都道府県別 2019年内服抗菌薬種類別 (ATC 4) 使用量マップ

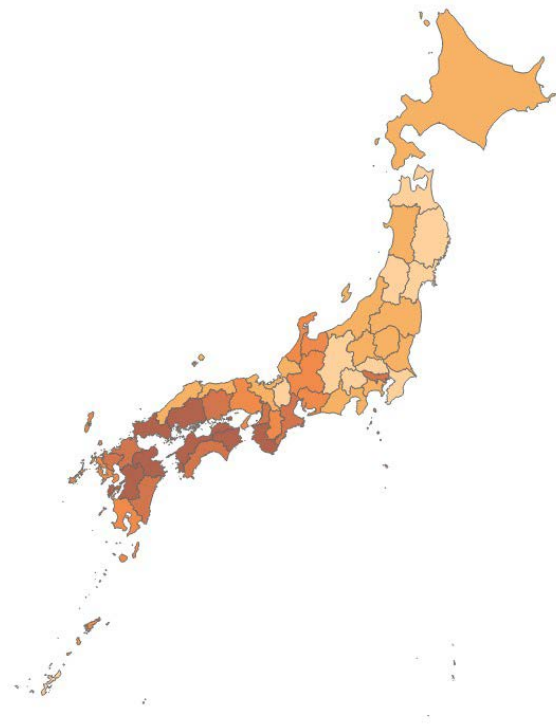
全抗菌薬合計



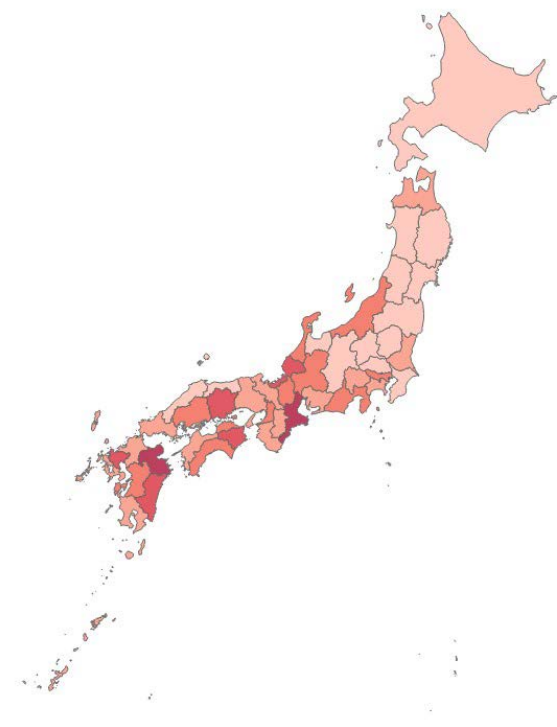
セファロスポリン



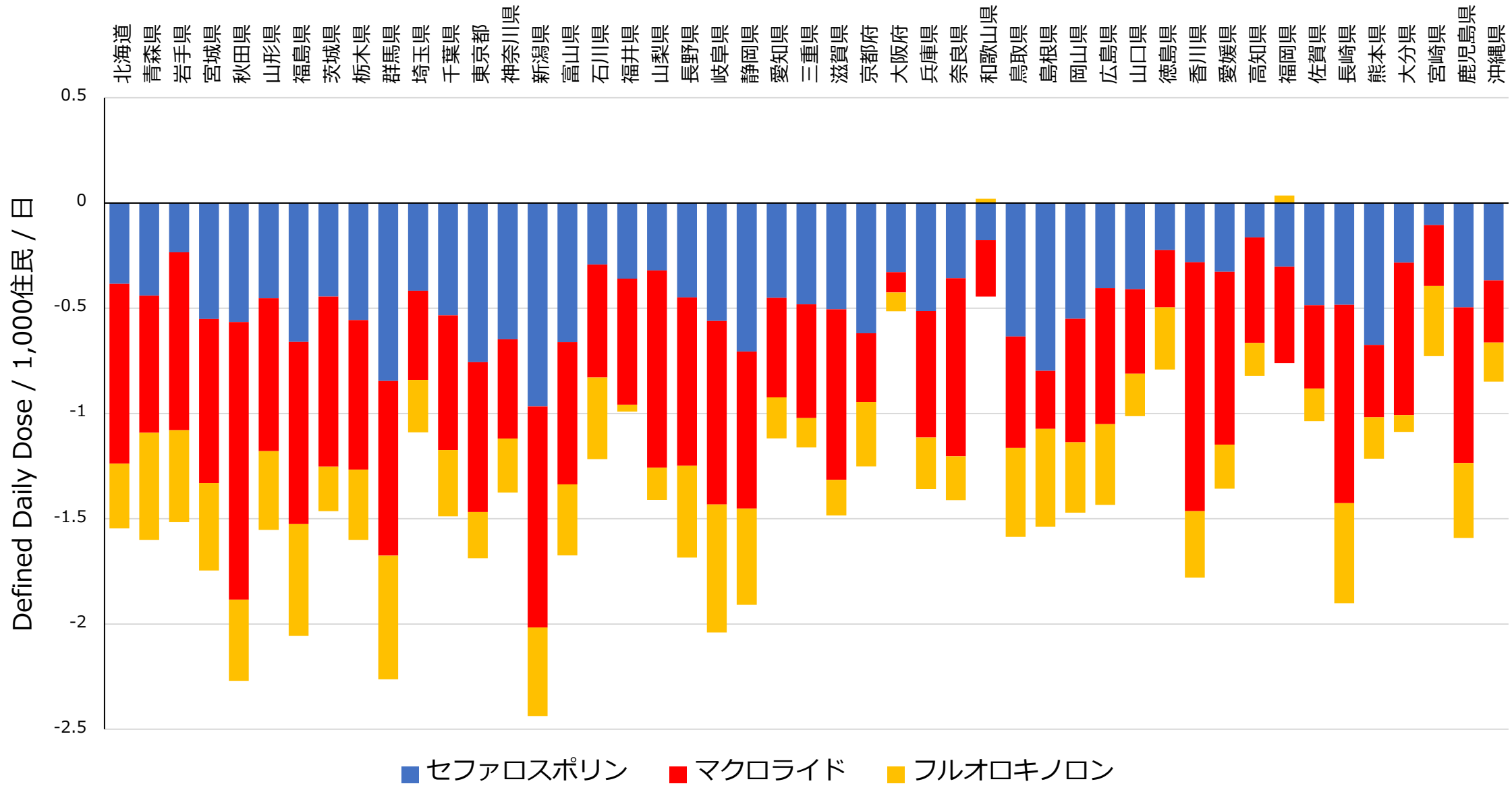
フルオロキノロン



マクロライド



2013-2019年 セファロスポリン・マクロライド・フルオロキノロン系抗菌薬 削減量



○本データは、診療、調剤時に発生する診療報酬明細書、調剤報酬明細書をもとに集計しています。  
医療費公費負担制度受給者のデータなどが含まれないことがあり、正確な使用量を示すものではありません。  
また、データソースが異なるため、販売量サーベイランス (<http://amrcrc.ncgm.go.jp/surveillance/020/20190902163931.html>) とは数値が異なります。

○表記されている数値は、人口と薬剤ごとのDefined Daily Dose (DDD) で調整した『標準化使用量』を表しており、これをDID (DDDs/1,000 inhabitants/day) と呼びます。(参考: [https://www.whocc.no/atc\\_ddd\\_index/](https://www.whocc.no/atc_ddd_index/))。  
**DDDは2017年1月1日時点のものを使用しております。**

○人口は、総務省統計局の人口推計 (<https://www.stat.go.jp/data/jinsui/>) を利用しています。

○AWaRe分類はWHOが推奨する抗菌薬適正使用の指標です。  
(参考: <https://adoptaware.org/> 対応表: [http://amrcrc.ncgm.go.jp/surveillance/020/AWaRe\\_bunrui\\_2019\\_ver5.pdf](http://amrcrc.ncgm.go.jp/surveillance/020/AWaRe_bunrui_2019_ver5.pdf))

○その他、抗菌薬集計に関する用語に関しましては、こちらをご参照ください。( [http://amr.ncgm.go.jp/pdf/190903\\_glossary.pdf](http://amr.ncgm.go.jp/pdf/190903_glossary.pdf) )

#### ○注意事項

- ・2, 3ページの『抗菌薬種類 (ATC 3)による集計』の各グループに含まれるATCコードは以下となっています。  
ATC分類の詳細については [https://www.whocc.no/atc\\_ddd\\_index/](https://www.whocc.no/atc_ddd_index/) を参照してください

ペニシリン以外のベータラクタム系: J01D (その他のβラクタム系抗菌薬) ※カルバペネムなども含む  
マクロライド・リンコサミド・ストレプトグラミン: J01F (マクロライド, リンコサミド, ストレプトグラミン)  
キノロン: J01M (キノロン系抗菌薬) ※ナリジクス酸やピペミド酸を含む  
ペニシリン: J01C (ベータラクタム, ペニシリン) ※βラクタマーゼ阻害剤との合剤も含む

(※) 本データ解析は、以下の研究に基づき実施されたものである。

- ・令和2年度新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業 (厚生労働科学研究費補助金)  
薬剤耐性 (AMR) アクションプランの実行に関する研究 (研究代表者: 大曲貴夫)